



町田通信

秋のご挨拶

「スペイン風邪と新型コロナ」

for Executives



皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。現今の感染禍により健康被害を受けられた皆さま、お仕事等に影響を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

さて、100年前にパンデミックとなったスペイン風邪は、名前こそ有名ですが、その被害の大きさはあまり知られていないようです。

その理由としては、スペイン風邪は「100年前の出来事である」「いまや身近なインフルエンザだった」「致死率がコレラやペストなどに比べて低い」などのほか、日本では「大正デモクラシーの最中で、第一次世界大戦の戦勝国として国中が沸くなど激動の時代(直後には関東大震災も)だったため、そうした歴史のなかに埋もれてしまった」ことなどが指摘されています。

しかし、スペイン風邪の被害は甚大で、当時の世界人口の1/4~1/3が感染、4千万~1億人が死亡した(出典:国立感染症研究所 感染症情報センター)とされています。そして、他の感染症や災害、戦争では、短期間にこれほど多くの死者を出したことはないともいわれています。

比較的致死率が低いスペイン風邪が世界中で大きな被害をもたらした原因には「戦時下の情報統制」「致死率が低いため軽くみられた」などが指摘されています。

医療技術と情報化が高度に進んだ現在、新型コロナは、スペイン風邪ほどの広がりを見せていませんが、無症状や軽症の方が多いためと軽く見られることで、さらに被害が大きく広がることのないよう祈ります。また、スペイン風邪では、医療従事者に感染者が多く出て医療崩壊を招いたとも伝わります。医療に従事されている皆さまのご健康とご無事を心より祈念いたします。

「変化に強い組織」

先ごろ女子大生を対象に行われた仕事と生活に関する調査によると「変化に強い企業」や「在宅勤務など変化に適応できる働き方」を求める姿が浮き彫りになりました。(出典:日本経済新聞 2020年7月27日 朝刊)

やがてコロナが終息し平穏な日常に戻っても、別の感染症や大地震などの心配がなくなるわけではありませんから、変化に強い企業や強靱な社会システムというものは今後も一層求められることになりそうですね。

(出典:日本経済新聞 2020年7月27日 朝刊)

「内部留保と投資」

「内部留保と投資」

さて、コロナ禍では、他国の企業に比べて豊富な日本企業の内部留保が注目されました。企業も個人も余裕があれば、苦境に直面してもその分長く持ち堪えることができますし、そのなかでもし活路を見いだしたら、そこに投資するなどの積極的な行動を取ることも可能です。

お金だけでなく、自己啓発や資格取得、副業への取り組み、企業なら商品開発や研究開発などへの投資も将来への大きな備えになります。

withコロナ、afterコロナを見据えたそうした備えについて、この機会にぜひ一緒に考えてみませんか。

お悩みごとや私が役に立ちそうなことがありましたら、いつでもお気軽にご連絡ください。



ソニー生命保険株式会社 新宿ライフプランナーセンター第4支社

エグゼクティブ ライフプランナー 町田 信行

住所変更などはありませんか。近況の変化やご要望、ご質問などございましたら私(裏面)までご連絡ください。また、私がお役に立ちそうな方がいらっしゃいましたらぜひご紹介いただけますようよろしくお願いいたします。



It was two-tired!

この春に外出自粛がはじまったころ、近所のケーキ屋さんで買ったケーキを家族で楽しんでいるという話を耳にしました。生活スタイルの急変で不安な日々を過ごすなか、そして、多くのお店が閉まるなかでは、手に入る数少ない楽しみのひとつだったのかも知れません。

一方、カナダでは、高校生のグループが自宅で隔離生活を送る高齢者のために、電話でジョークなどの笑顔になれるメッセージを聞けるサービスをはじめたことが話題になりました。

“Why did the bike fall over? It was two-tired!”

(two-tired(二輪)とtoo tired(疲れた)をかけたダジャレ)

電話サービスでは、こんなダジャレや親父ギャグなどを聞くことができ、そうした他愛のないことにクスッと笑うことがお年寄りには励ましになると好評だったそうです。

また、スマホやネットではなく電話を使った理由は、お年寄りの場合、ハイテクを使いこなせなかったり、ネット環境が整っていなかったりする方が少なくありませんが、ローテクな電話なら誰でも使いこなせるからだそうです。

(出典:the japantimes alpha 2020年5月29日 P.30)



「大切な不要不急」

マスクや除菌用アルコールを買い求めたり、感染しないための情報を得たり、政府や医療現場をはじめ世の中の動向を注視したりすることは大切です。

不要不急の外出をしない、ソーシャルディスタンスを守る、マスクをする、手を洗うことも大切です。もちろん、在宅勤務、在宅学習でやるべきことしたり、普段なら家にはない家族のために料理を用意したり、いつもより多い洗濯物をしたりすることも欠かせません。

こうしたことさえやっていれば、ひとまずは安全に暮らしていくことができるかもしれませんが、私たちは、それだけでは人間らしく生きて行くことはできないようです。

ある日、テレビ(「NHKニュース おはよう日本」2020年5月20日放送)で精神科医の斎藤環さんがインタビューに答え、次のような話をされていました。

私たちの時間意識は、大事なイベントだけでできているのではなく、傍らにある不要不急の出来事や人間関係でできあがっています。ですから、コロナの情報も大事ですが、自分の生活のなかでの些細なこと、無駄と思えるようなこと、たとえば、くだらないおしゃべりとか、あえて時間のかかる料理を作るといった不要不急なこと、そうした一見大事ではないこと、緊急性がないことに割く時間をあえて持つことが大事だということでした。

もし、必要なことしかやらないのだとしたら、まるで機械のようですね。with/afterコロナを元気に、そして人間らしく過ごす鍵のひとつは、こうした不要不急を生活のなかに上手に取り入れていくことにありそうです。また、企業にとっては、ここにビジネスチャンスがあるかもしれません。

こんな時はご連絡ください

適切なサービスや情報をご提供し、皆さまをお守りするために、次のようなときは私にご連絡ください。

●各種手続きや保障内容の見直しなどの相談や問い合わせ

- 保険金・給付金の請求手続き
- 契約者貸付
- 入院／手術／退院(含予定)
- 災害や事故などに遭遇(または心配)
- ご結婚／ご出産／入進学／転居(含予定)
- 昇進／転勤／転職／起業(含予定)

- 年金／相続／介護について相談したい
- 保障内容を確認／見直したい
- 紹介して欲しい人／提供して欲しい情報がある
- 事業拡大や事業承継のご計画(法人様)
- 福利厚生制度／役員の保障のご相談(法人様)

●その他

疑問やご不安に感じていることや近況なども気軽に伺い聞かせただければ幸いです。また、私がお役に立ちそうな方がいらっしゃいましたらぜひご紹介下さい。

(差出人・連絡先)

ソニー生命保険株式会社

新宿ライフプランナーセンター第4支社

エグゼクティブ ライフプランナー

町田 信行

掲載内容等に関するお問い合わせは私まで。

〒151-0053

渋谷区代々木 2-1-5

JR 南新宿ビル 18F

TEL: 03-5358-1704 FAX: 03-5358-1724

携帯: 090-3681-3416

メール: NOBUYUKI_MACHIDA@sonylife.co.jp

